

共に暮らす家

～風景、仕事、趣味、家族～

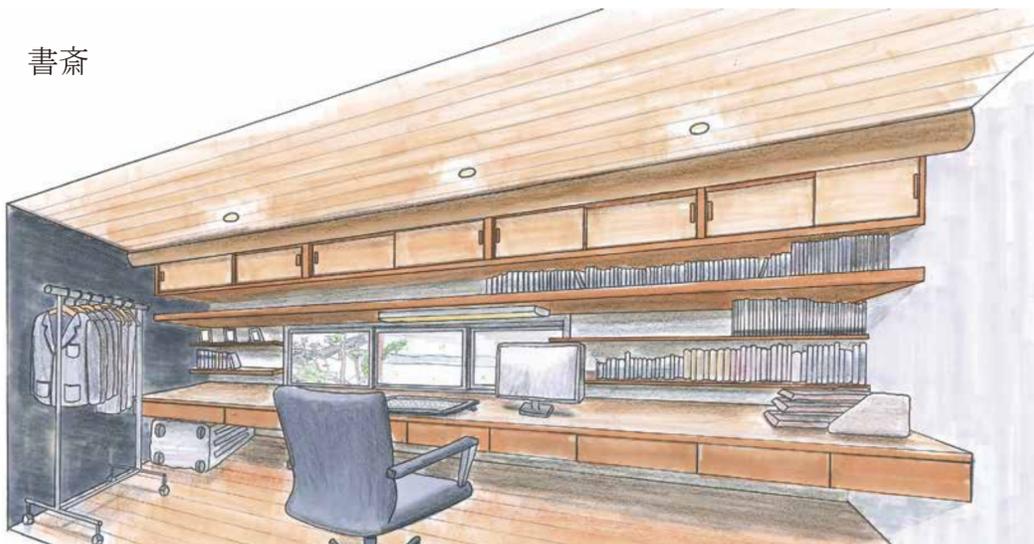


書斎、浴室からは河川の展望。

LDK、客間からは趣味の菜園を見ることができ、
間仕切りを最小限にすることで家族とコミュニケーションを。
共に暮らす。

水面の波紋をイメージした敷石

書斎



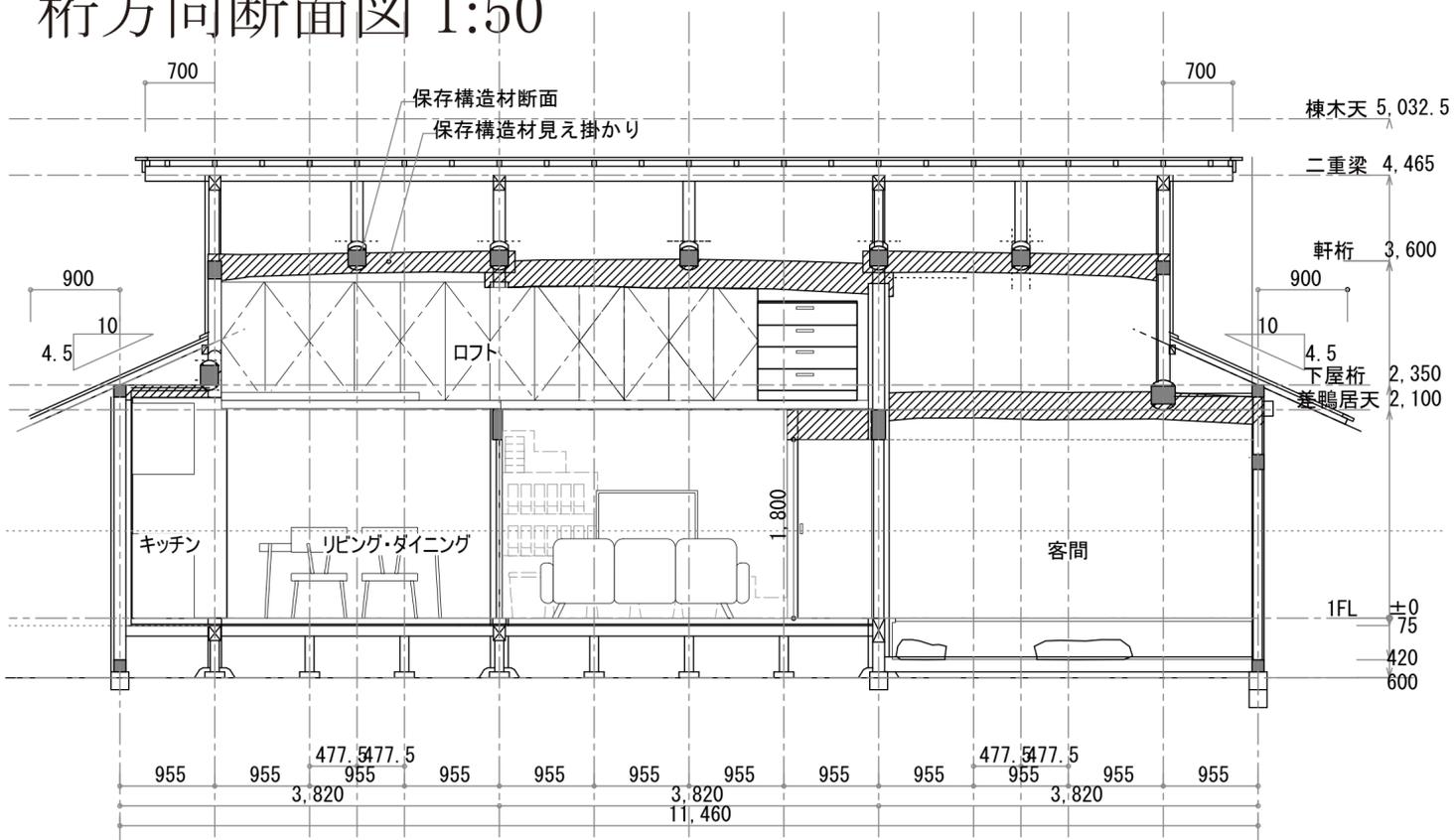
書斎を細長くし、大きな作業スペースと趣味の読書を存分に楽しむことができる本棚をつくった。書斎の窮屈感を出さないよう、また、仕事の息抜きに北側の河川と山が目に入るように座位の目線高さに窓を設置した。

LDK



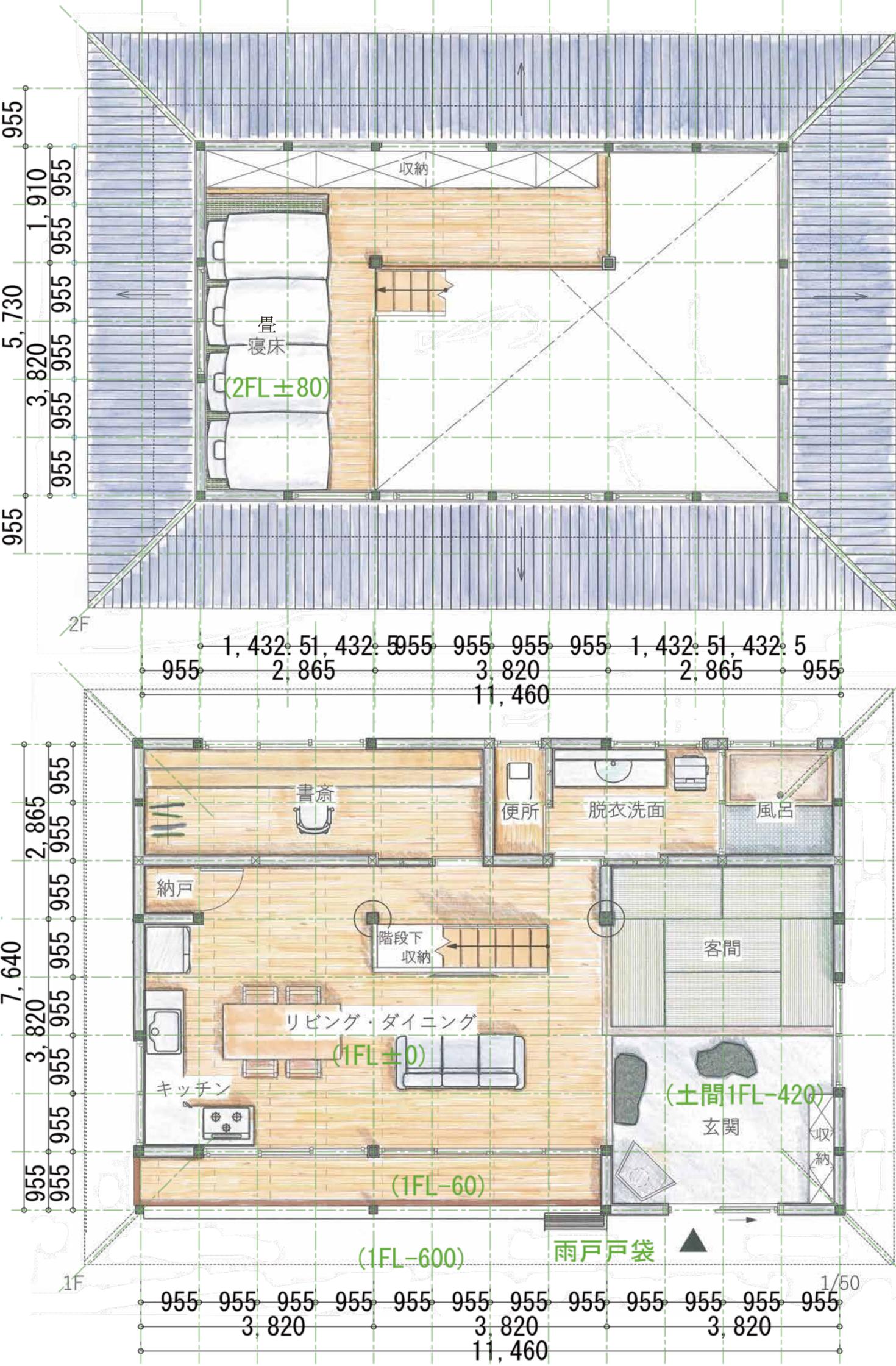
階段下に収納を確保。もともと屋根裏があった場所を抜き、吹き抜けにし、LDKに開放感を持たせた。

桁方向断面図 1:50



古民家らしさを感じるよう、梁を隠さないようにデザインした。生活感を感じる収納は客間や縁側から見えない位置に設計。ロフトにある畳部分にローテーブルを出して子供の宿題や趣味手芸を行うスペースとして活用いただける。

平面図 1:50



LDK に窮屈さを出さないため、客間の間仕切りは無くし、玄関から直接客間に入れるよう配置した。もともとあった土間を半分残し玄関を広く設けたので、椅子やベンチを置いて暖炉を前にくつろぐのこともできる。

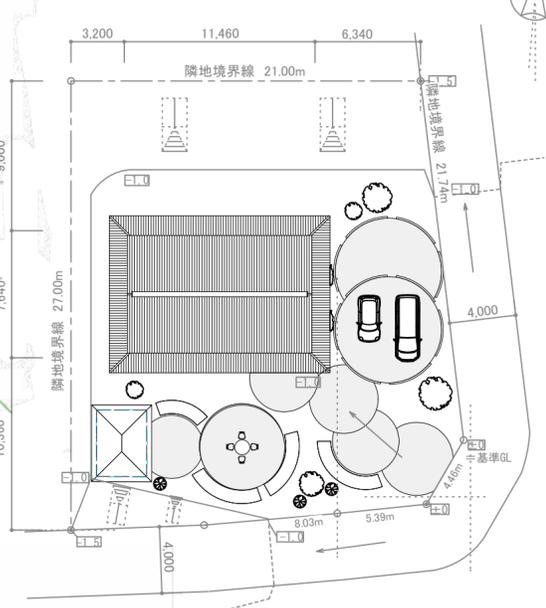
縁側は家族の共有スペースであるLDK からアクセスできるようにすることで、外と中別々で際でも家族とコミュニケーションを取ることのできるようにした。

小学生の娘さんと料理を楽しむため、ダイニングテーブルとキッチンを近くし、作業を行いやすいように配置した。

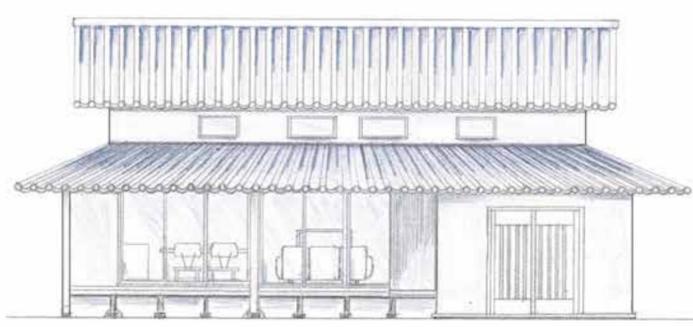
浴室は外の景色が見えるよう、開口部を大きく取った。河川からは高低差があり、目につかず、道路からも高低差、木により目隠しされており、目につかない。

ヒノキは床材と天井材、浴槽、書斎の机周り、手摺に使用した。

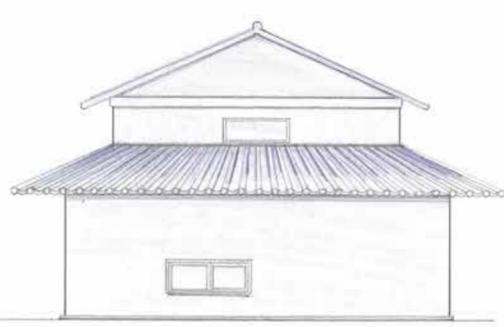
配置図 1/300



立面図 1:100



正面図



右側面図

1:100